

平成 29 年 1 月 16 日

保護者の皆様

江東区立元加賀小学校

校長 坪田 光代

元加賀小学校における近視検診について

新春の候、保護者の皆様には輝かしい新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

(配布する時期により時候の挨拶と右上の日付は変える予定です)

本校では、昨年 2 月、慶應義塾大学医学部教授 坪田一男先生を学校保健委員会にお招きし、“こどもたちの目の健康”について、講演をしていただきました。

坪田一男先生からは、近年、世界的に近視人口が急増しており、東京都に在住する学童でも裸眼視力 1.0 未満の児童の割合が年々増加傾向にあるとのこと、近視の中でも、失明に至ることも考えられる強度の近視児童の増加も危惧されているとお話を伺いました。本校のこどもたちの目の健康を守るためには、日常生活における様々な姿勢やゲーム等電子機器とのつきあい方など、家庭と学校で協力して取り組んでいくことが重要であることがわかりました。

現在、慶應義塾大学医学部眼科学教室では、こどもたちの近視予防・失明予防の研究に取り組んでいらっしゃるということです。本校のこどもたちの目の健康を守るために、校長として熟慮し、この研究に協力したいと考えました。ぜひ、この趣旨をご理解いただきたく、お願いする次第です。

具体的には、昨年 4 月の学校健康診断で眼の屈折値と眼軸長を測定しました。これらの測定によって、こどもたち一人一人の近視の程度がわかります。近視かどうかは屈折値測定により診断されますが、近年、眼軸長(眼の奥行)が長くなることで近視が発症・進行することがわかってきたそうです。毎年この検査を行い、成長に伴ってどのように変化していくかを解析していきます。

慶應義塾大学医学部眼科学教室の研究に協力するため、研究においては、個人を特定できるデータをすべて削除して行っていただくことを確約しています。この研究に参加することによる個人情報の保護についての詳細は、以下をご参照ください。

慶應義塾大学医学部眼科学教室の研究に参加するにあたって

通常、医療機関を受診しないと測定できない屈折値、眼軸長を学校健康診断の一貫として検査することができ、現在の近視の程度を知ることができます。また結果によっては、医療機関の受診をお勧めします。

近視の進行を抑制する手段が将来的に確立した際に、有効な治療を受けることができる可能性があります。

個人情報の保護について

学校健康診断・近視検診の結果を、慶應義塾大学医学部眼科学教室へ提供し、解析されます。ただし、提供、解析に際しては個人情報をすべて削除し、匿名化データとして使用することとします。

個人情報と匿名化データを結びつける情報(連結情報)は、本校保健室で厳重に管理し、いっさい公開しません。

近視検診についてのお問い合わせは、主任養護教諭 佐々木和江までご連絡ください。なお、検査結果の提

供を希望されない方も、遠慮なく、担任および主任養護教諭 佐々木までお願いいたします。

以上